

# ふーぬ風

発行 〒901-1115  
沖縄県南部農業改良普及センター  
TEL : (098) 889 - 3510  
FAX : (098) 835 - 6010

## 南部地区の農業振興を目指して

沖縄県では、「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」及び「沖縄 21 世紀農林水産業振興計画」に基づき、本県農業の振興に向け諸施策を選択的かつ集中的に展開しているところであります。平成 29 年度は、両計画が後期に入り前期計画の総括と今後の成果目標の達成に向け、取り組みを強化しているところであります。

南部農業改良普及センター管内では、野菜、熱帯果樹など消費者ニーズに即応した作物の生産振興に取り組んでおり、さとうきび、養豚、鶏、乳用牛、肉用牛、花き、かんしょ等の生産も盛んであり、これらの品目を柱としながら、拠点産地を中心とした産地の形成拡大やブランド化を振興方向としております。また、生産性の向上などを図るため、地下ダムの整備をはじめ、農地及び施設

等の整備、農業機械の導入など、生産基盤は充実しつつあります。

このような中、管内の農業においては、担い手の育成確保や栽培技術の高位平準化、生産・出荷体制の強化、生産コストの削減、農作業の省力化、環境に配慮した農業生産の実現、農地流動化による規模拡大、防災農業の確立など、今なお多くの課題を抱えております。

このような状況を踏まえ、平成 29 年度は下記の 4 課題を普及計画の柱とし、直接農業者に接して技術・経営支援などの普及活動を重点的に展開します。



### 1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などの取り組みを支援します。

### 2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、かんしょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産供給体制の強化などの取り組みを支援します。

### 3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマー等の育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保、農業生産工程管理 (GAP) の実践などの取り組みを支援します。

### 4. 地域資源活用による農村振興

地産地消の推進、女性起業家等の支援、地域特産物の活用、島ヤサイの産地育成、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これらの課題解決にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し取り組む所存でありますので、関係者の皆様には今後とも

農業改良普及事業へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

南部農業改良普及センター所長 宮里 太

平成29年度

活動体制

南部農業改良普及センター

所長  
宮里 太

普及企画班  
班長 根路銘利加  
主幹 儀間靖

地域特産振興班  
班長 山口悟

園芸技術普及班  
班長 屋宜美智子

離島駐在

地域調整 根路銘 利加  
地域営農 仲本 優子  
担い手 儀間 靖 安藤 さやか 新里 亜希子  
農業経営 豊里 麻子  
庶務 志良堂 史 新垣 夏代

特産物 山口 悟 屋良 久美子 長谷 智宏 (屋嘉比 仁美)  
工芸作物 伊良 皆 ゆかり  
作物 友利 研一  
畜産 細井 伸浩 三塩 志麻

花き 當間 ひろの 玉城 優太  
野菜 屋宜 美智子 崎山 澄寿 安次富 由乃 根間 光里  
果樹 大石 彩子 下地 聡子

久米島町：西田 公一 南大東村：当真 央 北大東村：與儀 允

( ) は臨任職員

# 土づくりと土壌診断の考え

## 1. 土づくりの意義

土づくりとは、土壌の物理性、化学性、生物性（下図）を改良することによって、作物の生育に合った土壌環境を整えることです。

土壌の保水性・排水性を改善し、次に土壌 pH や土壌養分量・養分バランスを整え、さらに土壌生物等の生育密度や多様性を増加させることによって、地力の増進を図ることができます。



図地力の三要素

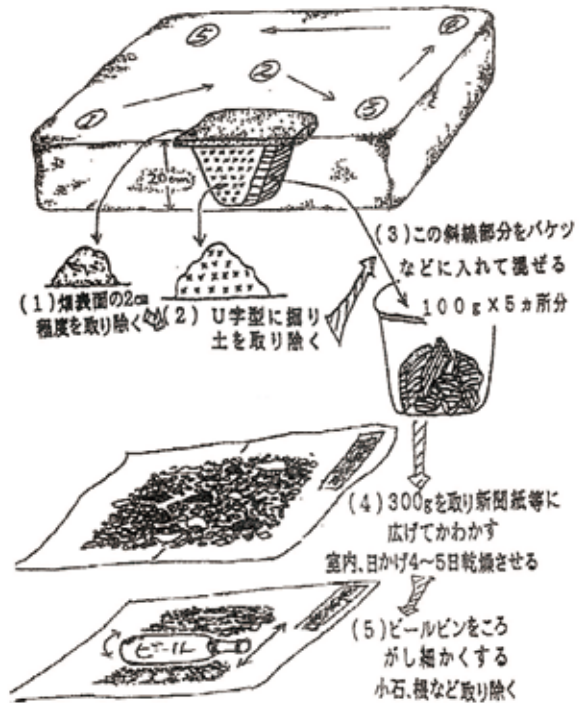
## 2. 分析項目について

以下の 8 項目について分析します。

【分析項目】	【項目から判ること】
土壌 pH	土壌中の酸度、養分吸収に影響
EC (電気伝導度)	塩類集積や減肥の目安
CEC (陽イオン交換容量)	土壌保肥力
腐植	有機物含有量の目安
交換性石灰	吸収できるカルシウム量
交換性苦土	吸収できるマグネシウム量
交換性加里	吸収できるカリウム量
可給態リン酸	吸収できるリン酸量

表土壌分析診断項目

## 3. 分析土壌の取り方



## 4. 土の提出方法

- ①提出期限は分析月日の所定の期日までに提出してください。
- ②所定の「土壌サンプル票」に記入のうえ、土と一緒に提出してください。
- ③分析件数に限りがあるため、必要最小限の点数を提出してください。
- ④提出は JA 各支店で受け付けています。土壌診断結果の配布も JA 各支店（生産部会等）を通して行います。  
(JA 生産部会員、組合員以外については南部農業改良普及センターにおいても受け付けております)。

## 5. 土壌検診週間

土づくり推進活動の一環として、土壌検診週間を下記の日程で、計画しております。

H29 年度土壌分析週間：  
平成 29 年 6 月 26 日 (月)～ 6 月 30 日 (金) まで

## マンゴー栽培技術情報

### いよいよ台風シーズン到来！～万全な台風対策を～

梅雨が明けると、いよいよ台風のシーズンがやってきます。台風が襲来すると、果実の落下やスレによる傷の他、台風通過後の塩害、落葉、樹勢の低下などの被害を受けます。被害を最小限に抑え、マンゴーの樹を守るためにも万全な台風対策を行いましょう。

#### ～できていますか？事前対策～

#### ◆かいよう病対策◆



かいよう病は、葉や果実、枝幹を侵す病気で、台風による風雨害を受けた場合に発生が多くなる病害のひとつです。

#### 【特徴】

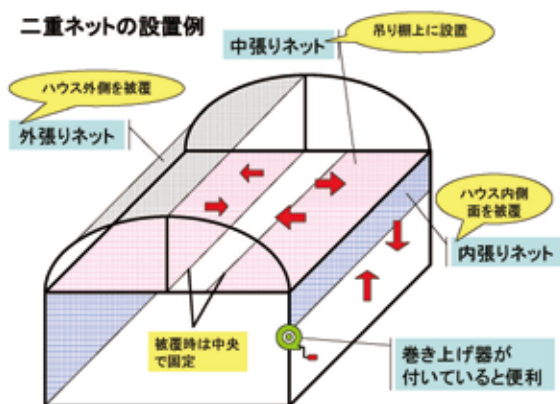
葉：コールタールのように盛り上がり、角張った黒斑ができる

枝・幹：亀裂からヤニがでる

果実：黒斑に裂け目が出る

※かいよう病の予防対策としては、予防散布しかありません。台風襲来前に I C ボルドーを散布しましょう。

#### ◆二重ネット設置◆



二重ネット設置のポイントは、台風時にハウス側面とつり棚の上にネットを設置することで、風の強さを弱めることです。ただし、二重ネットによる台風対策は、ある程度風に耐えられるハウス強度が前提で、小型のパイプハウス等では補強が必要です。補強例としては、①足場パイプで 3m おきのアーチに追加する、② 3m 間隔で中央に支柱を立てる、③前後の妻面と支柱をクランプで接続する等の方法があります。

#### ～忘れないで！！事後対策～

事前対策ができたならこれでひと安心 ... ではありません！事後対策も重要な台風対策のひとつです。台風後は樹全体に散水することで、台風で運ばれてきた塩分を十分に洗い流し、塩害からマンゴーの樹を守りましょう。また、台風通過後は、急激な温度の上昇が予想されます。高温対策のためのハウス換気を早急に行いましょう。



# 病害虫の多発生に気をつけよう！

梅雨明けから葉を食害する害虫が発生し、イモの生育に影響を及ぼす被害を受けることがありますので適宜防除に努めましょう。

## 《主な葉食害虫と防除農薬》

<p><b>エビガラスズメ</b></p>  <p>ハクサップ水和剤 アグロスリン水和剤 ランネート微粒剤</p>	<p><b>イモコガ(イモキバガ)</b></p>  <p>ハクサップ水和剤 ラービン水和剤 75 ラービフロアブル スミチオン乳剤</p>	<p><b>ナガジロシタバ</b></p>  <p>ハクサップ水和剤 ラービフロアブル アグロスリン水和剤 トレボン乳剤</p>	<p><b>ヒルガオハモグリガ</b></p>  <p>エルサン乳剤 エルサン粉剤</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※農薬の使用にあたっては、最新の農薬登録情報を確認して使用してください。

## かんしょ新品種候補系統「沖育 09-8-14」の紹介

沖縄県農業研究センターが多収で白色のペースト加工に適した新品種「沖育 09-8-14」を育成しました。白色ペーストとして利用し、他の食材と組合せ、多様な商品開発が期待できます。

### 《品種の特徴》

- ・いもの形が紡錘形で、皮色が赤く、肉色が白です。
- ・1個重がやや重く、収穫個数も多く、収量が多い品種です。
- ・蒸しイモの肉質は、春植えでやや粉質で加工に適します。

### 《留意点》

- ・加工用品種であるため、生産にあたっては、加工業者による引き取り（売り先）を確保しておく必要があります。
- ・秋植えは、肉質がやや粘質となり、加工時の作業性等に支障が生じる可能性があります。
- ・生食用としての市場出荷には適しません。



「沖育09-8-14」の塊根



「沖育09-8-14」ペーストと他食材との組合せ

表 「沖育 09-8-14」の特性（春植え）

試験地	品種・系統名	上イモ重 (kg/a)	標準比 (%)	上イモ 1個重 (g)	上イモ数 (個/株)	蒸しイモ		
						肉色	肉質	食味
農研センター	沖育 09-8-14	518	161	228	4.2	白	やや粉	やや劣
	ちゅら恋紅 (標準)	322	100	142	3.9	濃紫	やや粉	やや劣
	ちゅらまる (比較)	331	103	126	4.7	黄白	やや粘	やや良
	備瀬 (比較)	236	73	149	2.7	紫	中	中
現地試験 八重瀬町	沖育 09-8-14	594	144	294	3.6	白	粉	やや劣
	ちゅら恋紅 (標準)	412	100	189	3.9	濃紫	やや粉	やや劣

農研センター：2013～2015年3作の平均 現地試験：2014～2015年2作の平均  
上イモ：50g以上の塊根

# 第41回 沖縄県さとうきび競作会表彰式 農林水産大臣賞受賞!



平成 28/29 年 期に収穫されたさとうきびを対象として行われたさとうきび競作会において、糸満市の比嘉正行氏が農林水産大臣賞を受賞しました。比嘉氏は定年退職後さとうきび栽培を始めて 18 年。今回の出品は農林 21 号の株出、蔗茎重量 13,260 kg /10a、甘蔗糖重量 2,939 kg /10a でした。栽培面積は約 62 a で、畦幅を 150 cm と広めにとりブルトラで管理作業ができるように効率化を図っています。

南部地区の表彰結果は以下の通り

【農家の部】

沖縄県 1 位	農林水産大臣賞	南部地区代表 (那覇市、 圃場：糸満市)	比嘉 正行	蔗茎重量 13,260 kg /10a 甘蔗糖重量 2,939 kg /10a 甘蔗糖度 14.2 度 株出 品種 N i 21
------------	---------	----------------------------	-------	---------------------------------------------------------------------

【多量生産の部】《一般農家の部》

沖縄県 1 位	(独) 農畜産業振興 機構理事長賞	南大東村	新城 健浩	生産量 1,138,180 kg 甘蔗糖度 13.6 度
------------	----------------------	------	-------	------------------------------

《生産法人の部》

沖縄県 1 位	(独) 農畜産業振興 機構理事長賞	南大東村	アグリサポート 南大東株式会社	生産量 6,051,970 kg 甘蔗糖度 13.3 度
沖縄県 2 位	沖縄県農林水産部 長賞	久米島町	有限会社 赤平ファーム	生産量 964,000 kg 甘蔗糖度 13.3 度

【特別優良事例の部】

《個人農家》	(公社) 沖縄県糖業 振興協会理事長賞	南大東村	喜納 盛男
《団体》	(公社) 沖縄県糖業 振興協会理事長賞	南大東村	南大東村さとうきび 生産振興対策協議会



# 南部地区農業青年クラブ連絡協議会

## ～定期総会の開催～

平成 29 年度南部地区農業青年クラブ連絡協議会の定期総会が 5 月 12 日(金)に南部普及センターで開催され、クラブ会員と関係機関 23 人が集まる中、全ての議案が承認されました。

引き続き会長となった小田哲也氏(南城市農業青年クラブ)からは、「昨年度好評であったクラブ員のほ場視察を今年度も行い、クラブ員同士が交流し、楽しく魅力ある活動を実施していきたいので、皆さんの協力をよろしくお願いいたします。」とあいさつがあり、活動スローガン斉唱と今後の参加を呼びかけました。



写真 左より小田哲也会長、大城義明副会長、大城直樹事務局長、兼本光太郎理事

### H29年度 おもな活動計画

年 月	内 容	場 所
H29 年 6 月	土壌分析の実施	普及センター
8 月～ 11 月	農業青年クラブ員圃場視察	南部管内
6 月	就農支援講座受講生との意見交換 (新規会員加入促進)	普及センター会議室
7 月	土づくり研修会(3年目) 県外視察(九州大会と抱き合せ)	普及センター会議室 熊本県
8 月	仲間づくりスポーツ交流会	南部管内
10 月	沖縄県青年農業者会議・ リーダー研修会	未定
12 月	リーダー研修会	未定
H30 年 1 月	地域担い手ほ場現地検討会 (グッジョブ推進会議と共催)	南部管内
2～3 月	農産物販売活動	南部管内
5 月	平成 30 年度定期総会、研修会	普及センター会議室
隔月	地区連役員会	普及センター会議室

各月の活動に農業青年クラブ員皆様の参加協力をお願いします



上記写真は H 28 年度の活動状況です。

～ クラブ員募集中 ♪～  
**興味のある方。お気軽にお問い合わせください m( ) m**

(普及企画班 安藤 さやか)



# 離島情報 久米島

## さとうきび

### (1) さとうきび生産実績について

今期のさとうきびは、生育初期、旺盛期共に気象条件にも恵まれ 9 月 30 日に行った生育調査では生育本数、茎長ともに平年値を上回り、特に茎長に至っては平年よりも約 50cm も長く、豊作が期待されましたが、台風 18 号により折損、倒伏、葉片裂傷等で生育が停滞（写真 1）しました。



写真 1 台風 18 号 (H28 年 10 月)

そのため、単収で 7 年ぶりに 6t を超えたものの、収穫面積の減少もあり生産量は 55,187t (昨期の 24% の増) で製糖終了しました (表 1)。品質は、台風被害による葉片裂傷の影響で登熟が遅れ、搬入当初は買入糖度が 12 度台で推移し、3 月後半に行くにつれ回復したものの、平均糖度は 13.69 度でした。

表 1. H 28/29 年期製糖実績

	面積 (a)	単収 (kg)	生産量 (t)
夏植え	19,473	7,808	15,204
春植え	11,166	5,963	6,658
株出	60,018	5,553	33,325
合計	90,657	6,087	55,187

(資料：久米島製糖株式会社より)

### (2) さとうきび機械収穫について

今期、ハーベスターを新規で 2 台導入した結果、機械収穫量は昨年と比較して約 5,800t 多い 21,364t でしたが、全体の搬入量に対する割合は 38.7 % と依然として低い傾向にあります (表 2)。引き続き、関係機関と連携し、収穫作業の機械化に向けた取り組みを支援していきます。



写真 2 小型ハーベスター

表 2. H 28/29 年期原料の収穫区分

項目	搬入台数(台)	搬入量(kg)	比率 (%)	トラッシュ率(%)
手刈原料	6,297	27,804,575	50.4	0.87
無・粗脱葉原料	1,448	6,018,416	10.9	5.74
ハーベスター原料	5,014	21,363,930	38.7	17.01
総搬入量	12,759	55,186,921	100.0	8.29

(資料：久米島製糖株式会社より)

### (3) 機械収穫後の株出管理について

機械収穫ほ場では、茎の切断位置が不揃いになっている場合が多いので、株揃い機を用いて地下 5 cm 程度の位置で株を切断して株高さを揃え、併せて根切と培土を行い、株元に肥料を施肥します。機械収穫後の高刈りしたほ場を株出した場合、残茎の地上部や地下部の浅い方から萌芽してしまい、原料茎数や一茎重が減少し収量が減少します。下の写真は、収穫後、株揃えと同時に施肥を行ったもので、株揃えが良いことが分かります。



写真 3 左：株揃い機 右：無処理 (H29 年 4 月 21 日)

また、株揃えにより地表面が整理され、早期に欠株が見つかり、補植ができます (写真 4)。株と株が 40cm 以上ある場合は、補植を行いますが、周辺株の草丈が 10cm 以上になると補植株の生育が抑制されますので注意が必要です。



写真 4 株揃後の欠株の状態

(久米島駐在 西田 公一)

# 「新規就農相談日」&「制度資金相談日」をはじめました

- 相談対象の方：南部農業改良普及センター管内（14 市町村）において就農を希望する方、もしくは農業を営んでいる方。
- 相談のある方は事前にお電話にて相談日の予約と相談カード（相談票）の記入をお願いします。
- 相談カード（相談票）は南部農業改良普及センターのホームページよりダウンロードしていただくか、もしくは FAX 送付します。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/nokai-nan/index.html>

事前に相談カードの記入が出来ない方は相談当日、はじめにご記入をお願いします。



## ◆ 新規就農相談日について ◆

月一回、火曜日を基本として相談日を設けました。今年度の開催予定日は以下のとおりですが、台風や業務の都合上、日程が変更となる場合があります。

予定日 (5/16,6/20,7/11,8/15,9/19,10/10,12/12 H30 1/16,2/13,3/13)

1 件 1 時間程度となります。

担当（儀間）まで電話予約してください。

事前に「新規就農相談カード」に記入作成し当日ご持参ください。（普及企画班 儀間 靖）

## ◆ 制度資金相談日について ◆

月 2～4 回、水曜日を基本として相談日を設けました。今年度の開催予定日はホームページまたはお電話でご確認下さい。

8 月までの予定日 (7/5,12,26,8/2,9,23)

1 件 2 時間以内となります。

担当（豊里）まで電話予約してください。

事前に「資金計画相談票」に記入作成し、決算書や見積書等、参考資料も併せて当日ご持参ください。（普及企画班 豊里 麻子）

# 定期人事異動

転入者～よろしくお願ひします～

＜園芸技術普及班＞

屋宜 美智子（前列左）、大石 彩子（前列右）

＜地域特産振興班＞

三塩 志麻（後列右）、長谷 智宏（休）、伊良皆 ゆかり（前列中央）

＜離島駐在＞

当真 央（南大東村）（後列中央）、與儀 允（北大東村）（後列左）



転出者～お世話になりました～

大城 和久、神山 桂子、安仁屋 政竜、亀山 健太、喜舎場 みさき、村山 盛敏、二宮 恵介

退職者～お疲れ様でした～

金城 實秋、宮尾 澄生、嵩原 寛剛